



ソーシャルワーカーデー

特集

社会福祉士インタビュー vol.1

委員会インタビュー vol.1 2

兵庫県社会福祉士会 2013年度 主な行事報告 4

社会福祉士になるには 6

一般社団法人 兵庫県社会福祉士会について 7



Profile

福祉系大学を卒業後、通所介護、特別養護老人ホーム、在宅介護支援センター、障害者支援施設で相談員等を務め平成15年度より但東町(現:豊岡市)に入職。平成23年度より現職。趣味の三味線、剣道を活かし地域でボランティアを通し人とのつながりを大切にしている。

下中 智晃 さん 豊岡市役所 地域包括支援センター 社会福祉士
兵庫県社会福祉士会会員 地域包括支援センター支援委員会委員 但馬ブロック事務局

地域包括支援センターとは

地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより地域住民の保健・医療の向上及び福祉の増進を支援することを目的として市町村を主体として設置されています。

センターには、社会福祉士・保健師等・主任介護支援専門員が配置され、相互に連携しながら高齢者への総合的支援を行います。

介護保険法の改正に伴って、平成18年4月に創設されました。

地域包括ケアシステムの構築を目指して

Q 地域包括支援センターでの社会福祉士の役割は何ですか？

高齢者や障害者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、保健師等、主任介護支援専門員、社会福祉士等の専門職種他と連携し、地域での各種のサービスや住民活動を結びつけることをしています。それらの連携をもとに地域のネットワークを構築・再生する取り組みを第一の柱としながら、個別サービスのコーディネートをしています。

また、困難事例・介護保険の導入からの支援に介入し、地域の介護支援専門員につないだり、2次介護予防事業、高齢者虐待防止啓発活動、見守り活動を行っています。

※2次介護予防…疾病の早期発見、早期治療など日常生活の改善や適切な医療の実施による予防

社会福祉の専門職として

Q 地域包括支援センターの社会福祉士としてやりがいを感じる、しんどいと感じることは？

*やりがい

地域包括支援センターの役割として地域の方の意見等を政策に結び付けていくためのパイプ役になることができます。また、地域活動が希薄になっている限界集落等への支援の、システム作りの一躍を担ったり、関係事業所との連携の中で地域全体の見守りを行うことが可能となります。システム作りを進める中で、福祉・医療関係に限定しないネットワークができ、その調整役として社会福祉士が機能することに、専門職としての存在価値や、やりがいを感じます

※限界集落…過疎化・高齢化が進展していく中で、経済的・社会的な共同生活の維持が難しくなり、社会単位としての存続が危ぶまれている集落。

*苦勞していること

あまりないのですが…地域包括支援センターに配属前の部署での経験から、行政の仕組みについても理解している専門職として「人を支援すること」と「市の財政等の実情」との間でジレンマに陥ることもあります。しかし、そのことで各関係機関、他職種との話し合いの中で理解し合うことができ、しんどいこともやりがいに変わっていきます。

Q 社会福祉士の資格を取得して良かったことは？

一番は「この仕事ができる」ことです。仕事以外にも、趣味の領域で出会う人とのネットワークや社会福祉士の活動がバランスよく普段の業務にリンクしてくることがあります。

これから、社会福祉士を目指す方には是非お願いしたいことは「人とつながる活動」を大切にしたいです。また、資格取得がゴールではなく、取得後にその価値を高めていくことが大切です。

Q 今後の目標は？

社会福祉士会の但馬ブロックの活動や委員会活動、私的なボランティア活動を通し全国の仲間とつながりながら研鑽し、社会福祉士の資格としての価値を高めていきたいです。また、社会福祉士の存在価値を高めるために、地道な努力を積み重ね、自身が成長していければと考えています。



委員会のメンバーに聞きました!!

Q 参加して良かった事(楽しいこと・やりがい・良かったこと)は?

「地域包括支援センターに配属となり、右も左もわからない時に、委員会に来て、社会福祉士としての役割がわかった」

「自分の勤める市の包括の仕事は普通と思っていた。でも、ここに来ると、それが絶対ではないことに気づかされた」

「ここに来るまで目標がなかったが、社会福祉士の大先輩と出会い『こういう風になりたい』と思える人に出会えた」

「研修企画をする中で、プレゼン能力が上がり、自身の力量が上がった」



委員長 山内賢治さん

Q 地域包括支援センターの社会福祉士の専門性は?

*社会福祉士の仕事は…

社会福祉士の仕事は、資格とスキルが直結して見えにくいので、他の専門職と比較して「専門性」を言語化することが難しいです。地域包括支援センターでは、社会福祉士以外の専門職も、それぞれの専門領域でソーシャルワークと同様の過程を展開しており、ソーシャルワークの展開そのものが社会福祉士の特化した専門性とはいえません。

*社会福祉士と他の専門職種との違いは…

他の専門職種は、対象者の課題に対して自らの専門領域中心でソーシャルワークを展開しており、その人の「生活」や「環境」等を含めた暮らしをナラティブには見ていません。社会福祉士は、各専門職種の専門領域を包括的に視野に入れ、「生活の全体性」を捉えます。その時に、各専門職種間の専門性をマネジメントすることが求められます。

*社会福祉士は…

地域包括支援センターに配属される社会福祉士は、一人一人の相談者の目線に立ち、その人の課題にどうアプローチしていくかを考え、持てる力を引き出していきます。

私たちの専門性は、人々の暮らしをトータルで捉え「人」や「環境」に対し適切にアプローチすると共に、各専門職種の支援が適切に提供されるようにマネジメントすることです。

Q 委員会の今後の方向性

☆調査研究☆

地域包括支援センターの業務の平準化に向けた取り組みとして、三職種連携会で、アンケート調査に取り組んでいます。アンケート結果を皆さんに報告していきたいと考えています。

☆支援者支援☆

地域包括支援センターの社会福祉士は離職率が高いです。仕事に不慣れで、周りに相談できる仲間がおらず、孤立している方が多くいます。地域包括支援センター支援委員会では社会福祉士の孤立化を防ぐことも一つの目的として研修会を開催しています。社会福祉士会非会員の方も参加可能です。委員会のメンバーが、職場で相談できず孤立している社会福祉士の相談にのり、支援することで、日々の業務の助けに少しでもなれば…と思い、活動していきます。



地域包括支援センター支援委員会概要

- 登録人数/22名
- 委員会の開催頻度/3ヶ月に1回程度
- 活動目的
 - ・地域包括支援センターの社会福祉士のネットワーク作り
 - ・各市町村の地域包括支援センターの情報共有、平準化
 - ・地域包括支援センターの活動を支援
- 活動内容
 - ・社会福祉士としての力を高めるために研修会の開催
 - ・三職種(介護支援専門員・看護師・社会福祉士)連携会議(毎月1回) 等

【interviewer】

広報委員会



【次回 interview】

相談委員会

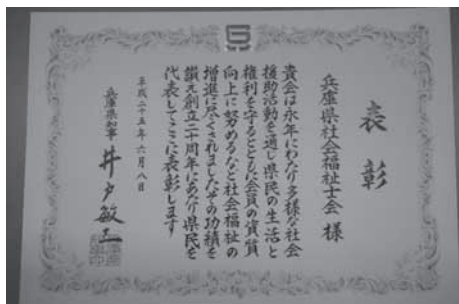
2013年度 主な行事報告

6月8日 兵庫県社会福祉士会設立20周年記念 第8回総会

兵庫県健康福祉部社会福祉局長の柏様、神戸市保健福祉局保護課監査担当課長の松浦様、兵庫県社会福祉協議会常任理事の永守様をはじめ、多くの来賓の方をお迎えして、開催いたしました。



表彰状授与の様子



表彰状

開会式冒頭には兵庫県知事から20周年にあたって、当会の団体活動が県民の保健衛生並びに福祉の向上に寄与したとして表彰状を柏社会福祉局長から授与していただきました。

4月20日 平成24年度社会福祉士国家試験合格祝賀会

ANAクラウンプラザ神戸36階レストランにおいて、平成24年度社会福祉士国家試験合格祝賀会が開催されました。当日は本会受験対策講座を受講し、見事合格した合格者の方10名の方と、本会より会長、副会長、事務局長、国家試験対策委員が参加しました。



ご出席された方お一人ずつ、お祝いのデザートをご用意いたしました。



5月16日 地域包括支援センター初任者研修



グループワークの様子

新任の包括支援センター職員を対象に、「地域包括ケアシステム」などのわかりやすい説明と、役割などを学ぶことが目的です。講師は昨年に引き続き、静岡県富士宮市地域包括支援センター長の土屋幸己さんです。富士宮市で行っている先進的な実例を交えて、包括の現任者でも聞き応えのある内容です。「総合相談業務」や「包括的・継続的ケアマネジメント」だけでなく、タイムリーな「地域ケア会議」についても、解説いただきました。最後にグループワークを行い、今直面している業務の振り返りと、明日からの業務にどうつなげていくかを参加者同士で共有しました。

6月1日 ハートフルフェスタ2013

メリケンパークにて開催された福祉のフェスティバル、「中央区ハートフルフェスタ2013」(主催:神戸市中央区社会福祉協議会)にて、神戸女子大学健康福祉学部社会福祉学科の出展ブースの一角をお借りして、出張福祉なんでも相談コーナーを設け、2名の社会福祉士が相談を受け付けました。



会場入り口の様子

7月15日 ソーシャルワーカーデー

JR神戸駅北側地下のサンポルタ広場にて、福祉無料相談会・活動紹介パネル展示・チラシ配布を行いました。当日はあいにくの雨模様で人の流れが少ないのではないかと心配いたしましたが、2000人を超える市民の皆様により、ソーシャルワーカーデー・社会福祉士の啓発チラシを受け取っていただけました。また、無料相談会には13名の方が相談に来られました。

(ソーシャルワーカーデーとは…みなさんにもっとソーシャルワーカーについて知っていただくために、社会福祉関係17団体で構成するソーシャルケアサービス従事者研究協議会は、2009年から「海の日」(今年は7月15日)を我が国のソーシャルワーカーデーと決め、ソーシャルワーカーの活動を広める日としました。今年で第4回目のソーシャルワーカーデーとなりました。)



活動パネル展示



福祉無料相談会

11月29・30日、12月4日 高齢者虐待対応現任者標準研修



本会会員による講義

3日間のプログラムで、地域包括支援センターや行政で虐待の対応をしている現任者を対象に開催をしました。弁護士による法的な知識についての講義から、当会の虐待対応委員会委員による、虐待対応の受付から終結に至るまでの現任者が取るべき行動について講義と演習を行いました。

1月26日 第26回社会福祉士国家試験 激励と労い

今年も、国家試験対策委員会のメンバーで応援に駆けつけました。例年通り、寒かったです。受験生の皆さんは、「絶対合格するんだ！」という、寒さを吹き飛ばすぐらいの熱い想いが伝わってきました。

問題を見ましたが、昨年と比べると難問奇問はかなり減少し、基本的な知識を問う問題が増えたように感じております。

受験生の皆さん、お疲れ様でした。



本会会員による激励

社会福祉士になるには

社会福祉士とは？

社会福祉士は、1987年の「社会福祉士及び介護福祉士法」制定と同時に誕生した国家資格です。第二条第一項において次のように定義されています。

社会福祉士の名称を用いて、専門的知識及び技術をもつて、身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する者又は医師その他の保健医療サービスを提供する者その他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行うことを業とする者をいう。

社会福祉士は「ソーシャルワークの価値と倫理を尊ぶ」価値・知識・技術に支えられた実践を行う専門職です。人々の生活と権利を守り、自立を支援するため、時には利用者を代弁し、他の専門職と連携し、利用者の最善の利益の実現を目指します。

社会福祉士の仕事

社会福祉士は、高齢の方・障害のある方・子ども・地域・その他毎日の生活の中で支援を必要とする人々を支える仕事をしています。

社会福祉士が活躍する身近なところ

高齢者	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・グループホーム・居宅介護支援事業所など
障害者	障害者支援施設・グループホーム・障害者就業・生活支援センターなど
子ども	児童相談所・児童養護施設・乳児院など
地域	社会福祉協議会・地域包括支援センター・相談支援事業所など
その他	医療機関・教育機関・行政機関など

※他にも、社会福祉士が活躍する職場はたくさんあります

国家試験について

*社会福祉士になるには、毎年1月末にある「社会福祉士国家試験」に合格し、登録を行う必要があります。

*国家試験を受けるためにはいくつかの道のりがありますが、大きく3つのルートがあります。

- ①大学等で指定科目を履修する
- ②短大等で指定科目を履修して、実務1～2年を経験する
- ③実務を4年以上経験した後、指定養成施設の課程を修了する



【登録について】

社会福祉士の国家試験に合格した後、氏名、生年月日等の登録を行うと、「登録証」が交付されます。国家試験や登録の詳細については、「社会福祉振興・試験センター」のホームページをご覧ください。

一般社団法人 兵庫県社会福祉士会について

社会福祉士会とは?

社団法人日本社会福祉士会は、「社会福祉士」の職能団体です。

社会福祉士の倫理を確立し、専門的スキルを研鑽し、社会福祉士の資質と社会的地位向上に努めるとともに、社会福祉の援助を必要とする人々の生活と権利の擁護及び社会福祉の増進に寄与することを目的に設立されました。

※日本社会福祉士会は2012年度より、社会福祉士個人の会員組織から47都道府県社会福祉士会を会員とする連合体組織へ移行しました。

社団法人日本社会福祉士会

47都道府県社会福祉士会を会員とする連合体

兵庫県社会福祉士会の活動

事業活動

- * 社会福祉に関する情報提供及び相談事業
- * 権利擁護に関する相談事業
- * 成年後見・後見監督に関する事業
- * 社会福祉士等の養成支援に関する事業
- * 地域包括支援センターへの支援に関する事業
- * 社会福祉従業者研修に関する事業
- * 路上生活者支援に関する事業
- * 児童虐待防止・子育て支援等子ども家庭支援に関する事業
- * 福祉サービスの質の向上のための評価に関する事業
- * 社会福祉及び社会福祉士に関する調査研究事業
- * 県・市町村の福祉計画への参画・提言
- * その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

委員会活動

- ・生涯研修センター ・福祉相談センター「ここねっと兵庫」
- ・研修委員会 ・調査研究委員会 ・国家試験対策委員会
- ・相談委員会 ・ケアマネジメント研究委員会 ・高齢者虐待対応委員会
- ・ぱあとなあ兵庫 ・地域包括支援センター支援委員会
- ・こども家庭支援委員会 ・実習教育支援委員会 ・障がい福祉委員会
- ・更生支援委員会 ・独立型社会福祉士支援委員会
- ・精神障がい者等退院支援チーム ・広報委員会

圏域によるブロック活動

- * 神戸ブロック * 阪神ブロック * 東播ブロック * 淡路ブロック
- * 西はりまブロック * 但馬ブロック * 丹波ブロック

入会案内

☆入会手順☆

- ①日本社会福祉士会事務局または兵庫県社会福祉士会事務局へ「入会申込書」を請求してください。
- ②必要事項を記入し、添付書類と一緒に日本社会福祉士会事務局または兵庫県社会福祉士会事務局へ送ってください。
- ③兵庫県社会福祉士会の会員として登録完了。
- ④『生涯研修手帳』『会員証』等がお手元に届きます。
- ⑤入会金・年会費が引落されます。

入会金および年会費

入会金	5,000円
年会費	10,000円
支部会費	6,000円

※口座引き落とし手数料別途必要です。
※お申し込み頂いた翌月以降の引き落としとなります。

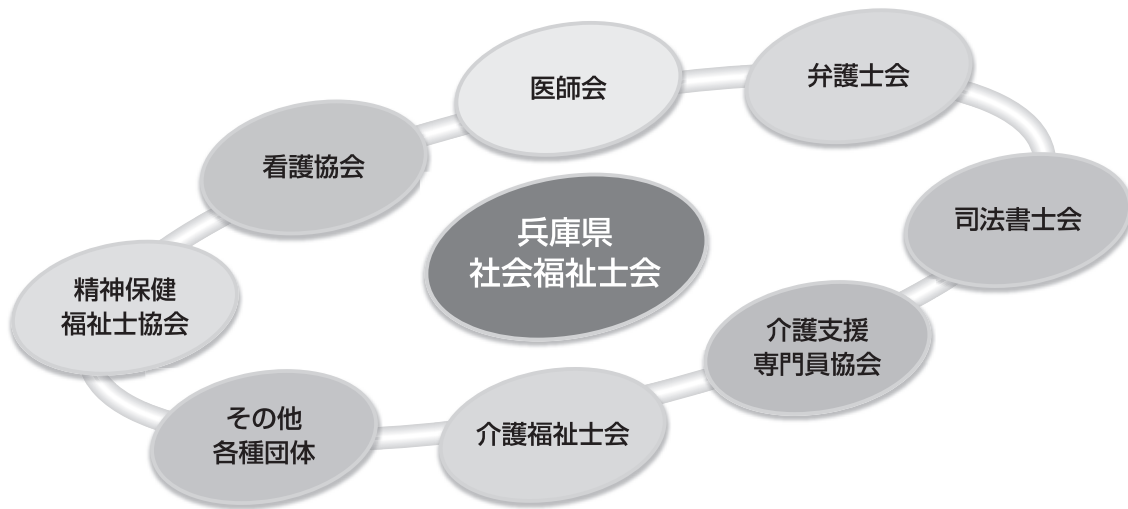
兵庫県社会福祉士会の会員になると...

- ・会員証が発行されます。
- ・研究誌『社会福祉士』への論文投稿の機会が与えられます。
- ・研究誌『社会福祉士』が年1回送付されます。
- ・研修会・大会等へ参加し自己研鑽の機会が豊富です。
- ・日本社会福祉士学会 全国大会に研究成果を発表する機会が得られます。
- ・日本社会福祉士会ニュース（会員情報紙）が年6回送付されます。
- ・兵庫県社会福祉士会機関紙「このとり通信」が年4回送付されます。
- ・厚生労働省や各自治体の最新福祉情報が手に入ります。
- ・会員専用のホームページへアクセスできます。
- ・全国の会員間でネットワークが作れます。
- ・日本社会福祉士会・兵庫県社会福祉士会の出版物が一部割引購入できます。

皆さんも会の活動を通して、他業種他職種にわたる“社会福祉士”のネットワークに参加してください



よりよい支援のために、県内他の専門職団体とも連携・協力しています！



■兵庫県社会福祉士会の事業内容■

- ・社会福祉に関する情報提供及び相談事業
- ・権利擁護に関する相談事業
- ・成年後見・後見監督に関する事業
- ・社会福祉士等の養成支援に関する事業
- ・地域包括支援センターへの支援に関する事業
- ・社会福祉従業者研修に関する事業
- ・路上生活者支援に関する事業
- ・児童虐待防止・子育て支援等子ども家庭支援に関する事業
- ・福祉サービスの質の向上のための評価に関する事業
- ・社会福祉及び社会福祉士に関する調査研究事業
- ・県・市町村の福祉計画への参画・提言
- ・その他この法人の目的を達成するために必要な事業

■現在の会員数 1,424名 (2014年1月末現在)

一般社団法人 兵庫県社会福祉士会

〒651-0062

神戸市中央区坂口通2-1-1

兵庫県福祉センター5F

電話：078-265-1330

FAX：078-265-1340

※月～金曜日の9:00～17:00の間で対応させていただきます。

●阪急王子公園駅下車歩10分 ●JR灘駅下車歩10分

●市バス90・92系統 上筒井1丁目停歩1分

